

テーマ：建築家による復興支援活動の研究

講師：小野田泰明（東北大学）

助手：保科陽介（SSD）hoshina@archi.tohoku.ac.jp（問合せ先）

趣旨：

3.11以降の何かしなければという衝動的熱情も一息つき、全体を科学的に再考する機運が高まっている。長期戦を乗り切るためには、領域を超えた多様な復興支援活動を有機的に連携させることが不可欠なのだ。しかし、その重要性にもかかわらず建築家やデザイナーの参画には、その方法論は確立していない。APR3ではそれぞれの地域で行われている復興（支援）活動を縦覧し、それらを評価する方法論についても考えていく。

履修方法：

初回の講義に参加。

修了要件：

成果物に基づき総合的に判断する。

スケジュール：

- ① 07/01(金) 18:00-20:30 キックオフミーティング（趣旨説明）：小野田 [被災地と復興支援活動の今]
- ② 07/15(金) 18:00-20:30 リサーチ発表（リサーチから見える建築家による復興支援活動の期待と課題）
ディスカッション（建築家による復興支援活動の評価）
- ③ 07/25(月)～08/12(金) インタビュー期間（仮）各自治体復興対策委員会
- ④ 08/18(木) 18:00-20:30 インタビュー発表&評価についてディスカッション
- ⑤ 09/04(日) 11:00-13:00 成果発表（仮）

場所：随時連絡